

第4章 史跡の本質的価値

第1節 史跡の本質的価値

熊本県に所在している西南戦争遺跡は、西南戦争における戦場跡（胸壁跡、砲台跡など）、本営跡、繃帯所、墓地、顕彰碑などの多種多様な要素で構成されている。このうち現在の熊本市域における国史跡西南戦争遺跡は明治10年（1877）3月3日から3月20日の間に行われた「田原坂の戦い」に関するものである。この戦いは、約7カ月に及んだ西南戦争のなかでも全体の4分の1にもおよぶ戦死者を出し、戦争の帰趨を決めた戦いとして西南戦争を象徴する戦いのひとつである。第3章で既に述べたように、当史跡には戦争当時の地形や景観がおおむね残り、遺物や遺構も多数確認されており、当時の陣地や戦闘の状況をよく知ることができる。このことから歴史のおよび学術的にもきわめて貴重である。

また、熊本市域の西南戦争遺跡には現在国の史跡に指定されている範囲のほかにも本質的価値を有する要素が存在する。特に過去に西南戦争関連の対象地として調査を実施した箇所（北平古道調査地、田原城跡・田原寺跡調査地、田原熊野座神社調査地、みかん小屋調査地など）では西南戦争に関する遺構や遺物が多数発見され、「田原坂の戦い」における戦時の様子と影響範囲を具体的に知ることができる。さらに、西南戦争が終結した翌年（1878）、陸軍によって整備された七本官軍墓地、明德官軍墓地、寄鶴官軍墓地は「田原坂の戦い」だけではなく西南戦争全体における政府軍の実態を語るものとして重要である。

以上のように、「田原坂の戦い」を含めた西南戦争の痕跡が良好な形で残存しているということが本史跡の本質的価値であり、これらが西南戦争後の長い年月の間も損なわれることなく保たれ続けているということは重要である。

第2節 史跡の副次的価値

西南戦争遺跡の範囲内にある田原坂公園は、大正12年（1923）に地元有志の方々の手によって公園化され、昭和32年（1957）には「西南役戦没者慰霊之碑」建立と公園の拡張整備が実施された。市内の各地では現在でも戦没者慰霊行事が開催されており、官民を越えた事業が継承されてきた履歴がある。このほか地元有志の方々による戦跡の周知啓発活動も行われている。史跡やその周辺の各所には県や市が整備した案内看板や、地元ゆかりの文学者に関する民間の記念碑なども建てられている。これらのことは、西南戦争遺跡が西南戦争終結直後から現代に至るまで、地域の重要な歴史を語る拠点として、常に地域から認識されていることを示している。西南戦争遺跡が現在まで保存されてきた理由を裏付けるものであり、本史跡を保存・活用し、整備していく上で重要な要素である。

第3節 構成要素

以上の事柄を踏まえ、史跡の現状を構成する要素を整理し以下の3つに大別する。

- ア．史跡の本質的価値を構成する要素
- イ．史跡の副次的価値を構成する要素
- ウ．その他の要素（調整を要する要素）

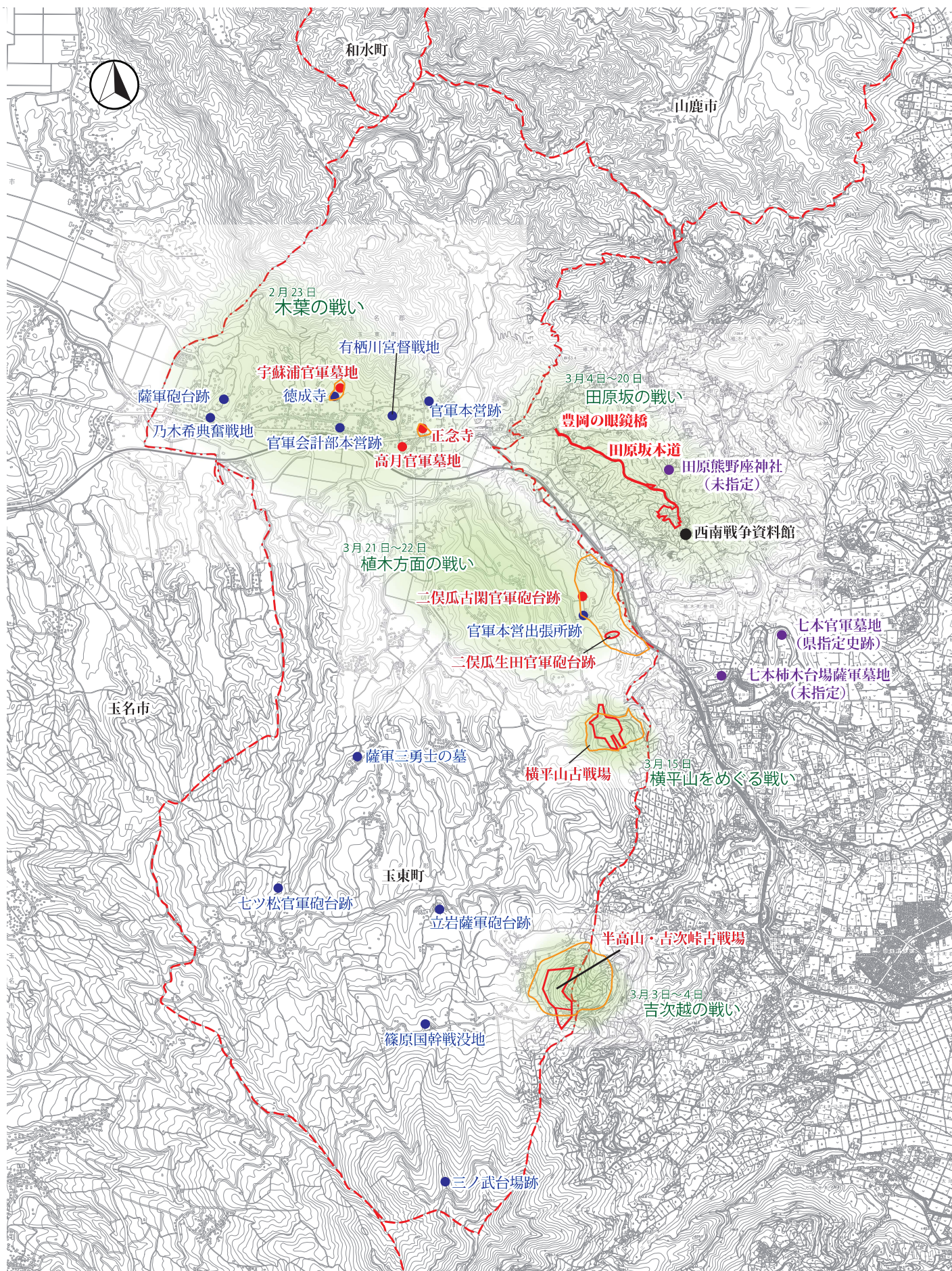
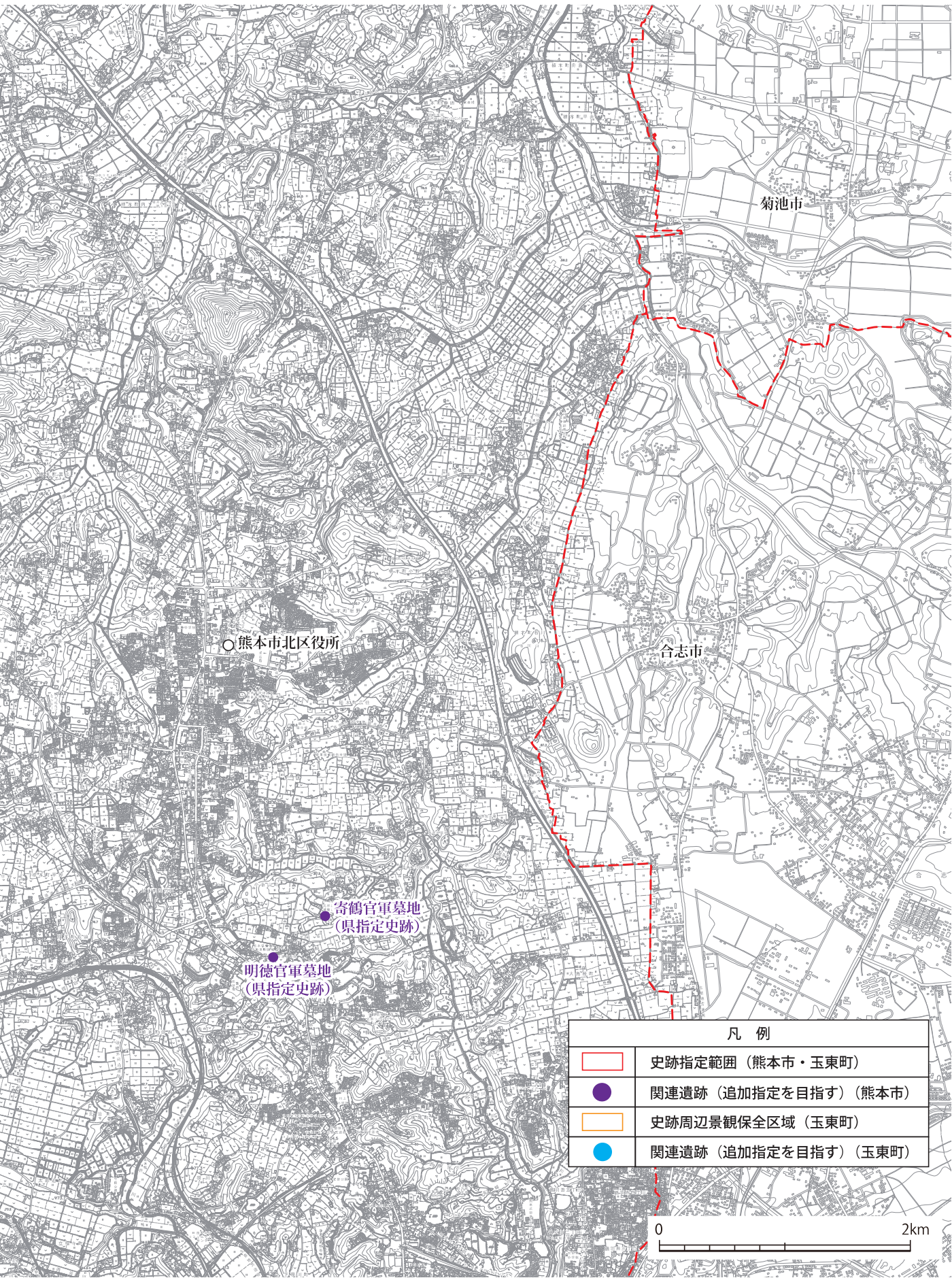


図 27 西南戦争の戦跡等分布図



「ア. 史跡の本質的価値を構成する要素」については、現状維持もしくは保護策を考慮しながら保存していくべきものである。「イ. 史跡の副次的価値を構成する要素」は、そこからさらに「遺跡の顕彰のために整備された要素」、「遺跡の活用のために整備された要素」、「西南戦争後に形成された要素」に小別して、現状維持あるいは在り方の再検討を要するものを含む。「ウ. その他の要素」については、史跡の本質的価値を活かすために、今後その在り方を検討する必要があるものとして取り扱う。

表9 各構成要素

場所		本質的価値を構成する要素	史跡の副次的価値を構成する要素			その他の要素
			顕彰のために整備された要素	活用のために整備された要素	西南戦争後に形成された要素	
国史跡指定地内	田原坂本道	・土地（地形、景観） ・遺構 ・遺物	・谷村計介戦死之地碑 ・西南之役戦没者慰霊碑	・一ノ坂公園 ・谷村計介戦死之地碑説明板 ・案内板（道標、説明板など）	・みかん畑（景観）	・道路
	田原坂公園	・土地（地形、景観） ・遺構 ・遺物 ・崇烈碑	・西南戦役戦没者慰霊之碑	・説明板 ・トイレ ・四阿 ・ベンチ	・みかん畑（景観） ・つつじ ・さくら ・薩摩塚	・文学碑 ・美少年像
	豊岡の眼鏡橋	・土地（道幅）		・説明板		・石橋上の舗装
国史跡指定地外	田原坂および田原坂公園近接地（北平古道調査地、田原城・田原寺跡調査地、みかん小屋調査地、熊本市有地（北）および（南）調査地、田原熊野座神社など）	・土地（地形、景観） ・遺構 ・遺物 ・大クスノキ ・田原の五輪塔（市指定有形文化財） ・弾痕の残る石造物、木造建築（社殿） ・金属反応のある立木		・田原坂西南戦争資料館、弾痕の家 ・案内板（道標、説明板など） ・展望台 ・駐車場 ・トイレ ・ベンチ	・みかん畑 ・百周年記念碑	
	七本官軍墓地	・土地 ・門柱 ・墓石	・背負いの松 ・石柱	・看板 ・駐車場		・拝屋
	明德官軍墓地	・土地 ・墓石	・門柱 ・石碑	・看板	・さくら	
	寄鶴官軍墓地	・土地	・石柱 ・墓石			
	七本柿木台場薩軍墓地	・土地	・石碑 ・墓石	・看板 ・駐車場 ・ベンチ		

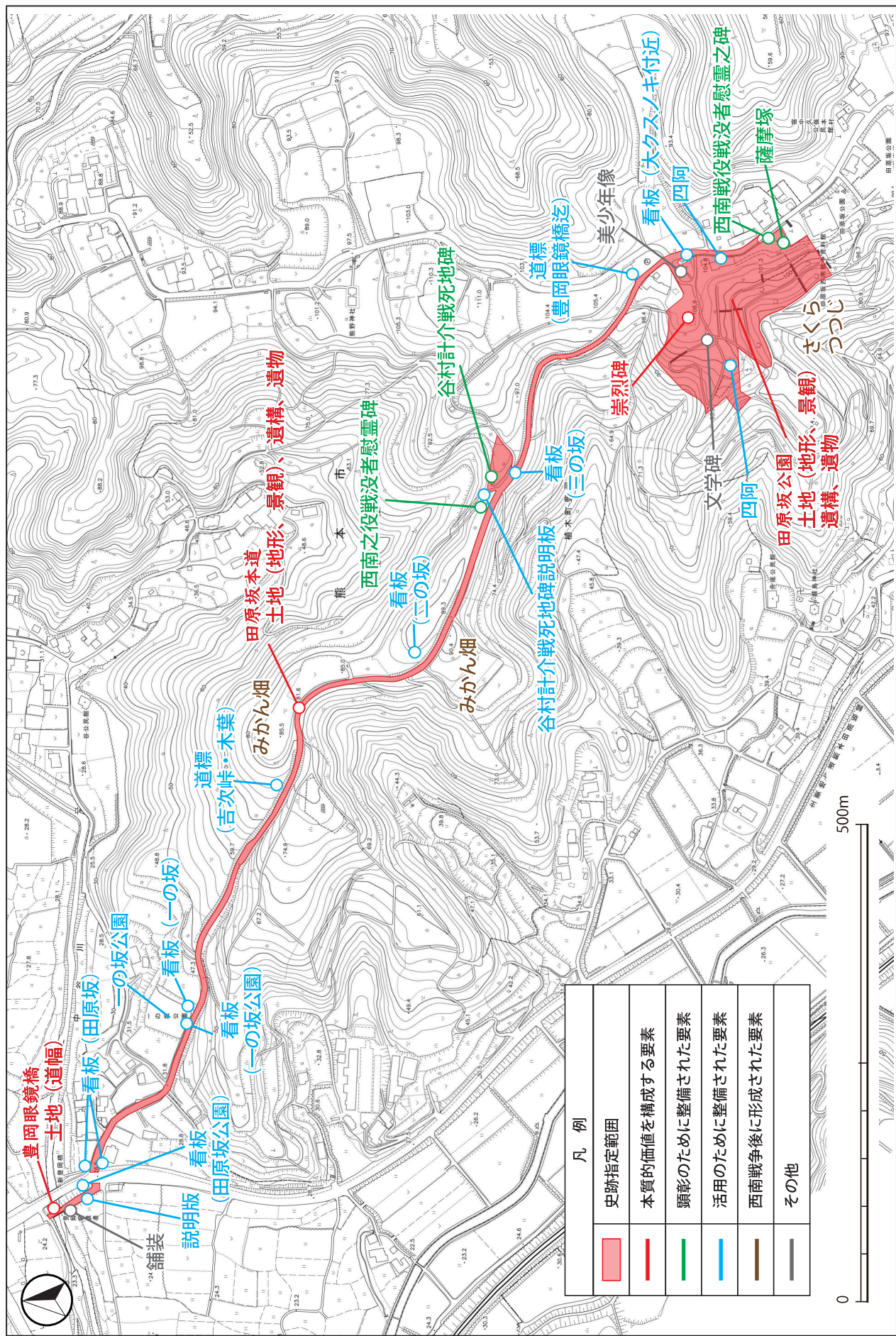


図 28 国史跡指定地内の構成要素

○本質的価値を構成する要素



田原坂本道一ノ坂
(西より)



谷村計介碑調査地
(東より)



谷村計介碑調査地遺物分布状況
(東より)



公園北半部塹壕跡 (調査前)
(東より)



豊岡の眼鏡橋
(南より)



崇烈碑
(北東より)



田原坂本道二ノ坂調査地



現在の豊岡台地・田原坂
(南西より)



薩摩軍守衛陣地を望む
(北東より)

○顕彰のために整備された要素



谷村計介戦死地之碑
(南より)



西南之役戦没者慰霊碑
(南より)



西南之役戦没者慰霊之碑
(北西より)



薩摩塚
(北西より)

○活用のために整備された要素



豊岡眼鏡橋説明板
(南東より)



田原坂公園看板
(南東より)



西南の役・田原坂看板
(西より)



一ノ坂公園
(西より)



田原坂説明板 (一ノ坂公園内)
(北東より)



一ノ坂看板
(西より)



道標 (吉次峠・木葉)
(南西より)



二ノ坂看板
(南西より)



谷村計介戦死地説明板
(南より)



三ノ坂看板
(南より)



道標 (豊岡眼鏡橋迄)
(南西より)



看板 (大クスノキ付近)
(南西より)



トイレ
(北西より)



四阿
(北東より)



ベンチ
(東より)

○西南戦争後に形成された要素



みかん畑（景観）
（南より）



つつじ
（南より）



サクラ
（南より）

○その他の要素



美少年像
（南西より）



石橋上の舗装
（南東より）



勇知之文学碑
（北より）



蓮田善明先生文学碑
（北より）



田中真済句碑
（南より）



道路
（東より）

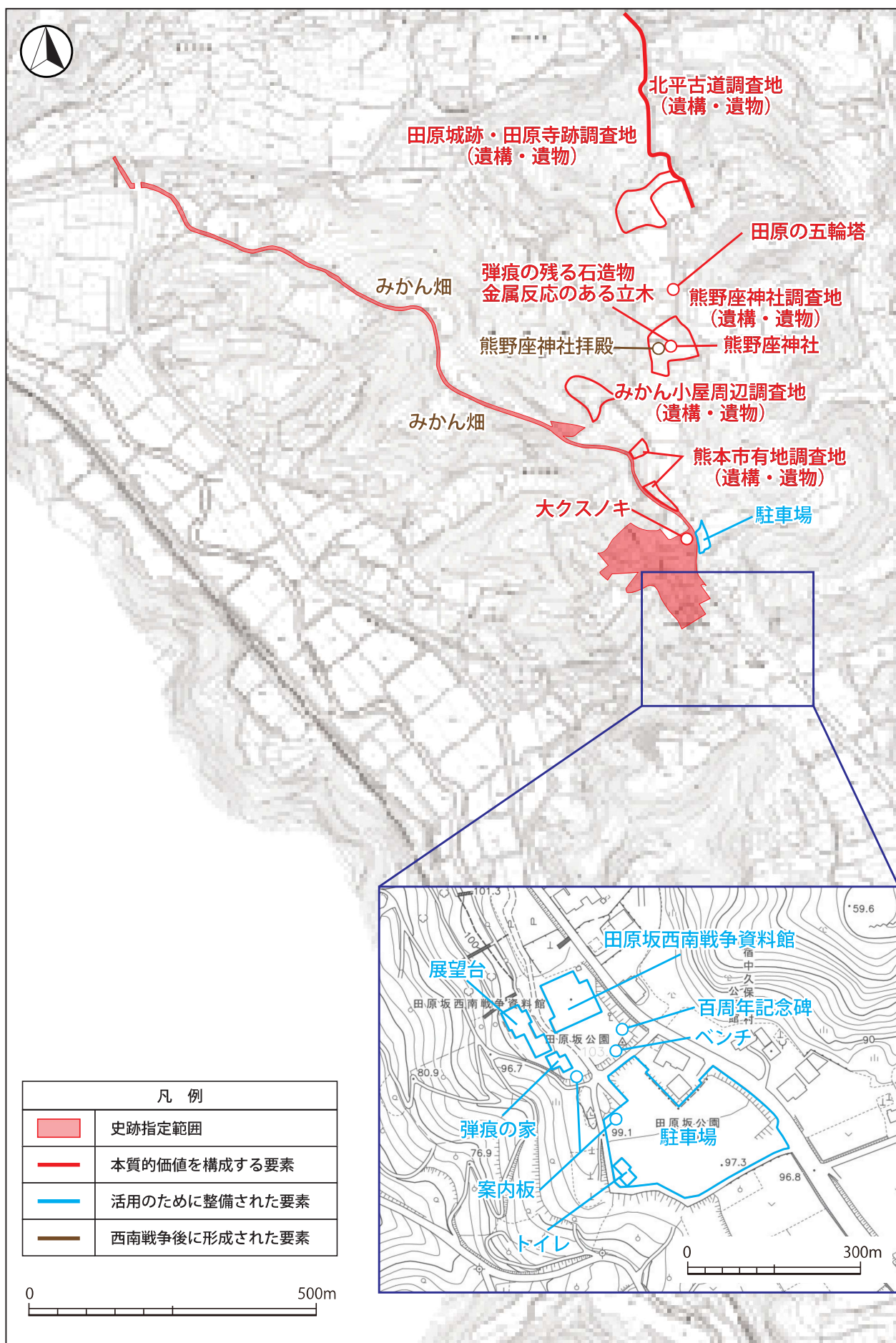


図 29 国史跡指定地外の構成要素

○本質的価値を構成する要素



北平古道調査地



北平古道調査地遺物分布状況



みかん小屋調査地西側斜面
(南より)



田原城・田原寺跡調査地全景



田原熊野座神社裏の小銃弾集中箇所



田原熊野座神社陣地状遺構
(南より)



田原の五輪塔
(東より)



田原熊野座神社弾痕の残る石造物
(南より)



田原熊野座神社社殿
(南より)

○活用のために整備された要素



田原坂西南戦争資料館
(南西より)



弾痕の家
(東より)



案内板
(南東より)



展望台
(南東より)



駐車場
(南東より)



トイレ
(南東より)



ベンチ
(南西より)

○西南戦争後に形成された要素



みかん畑
(南東より)



百周年記念碑
(南西より)

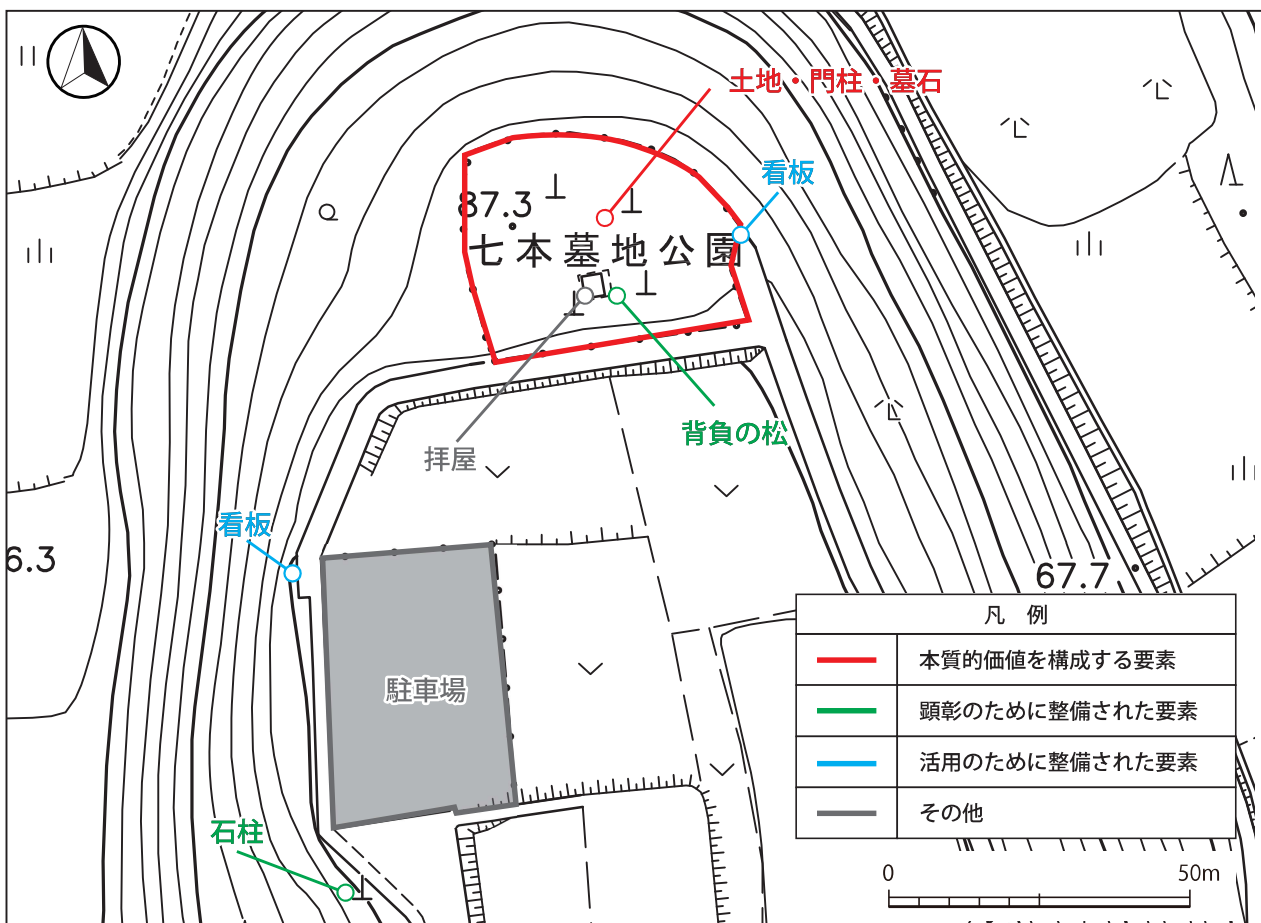


図 30 七本官軍墓地の史跡の本質的価値と関わる要素

○本質的価値を構成する要素



入口・門柱
(南西より)



尉官将校墓
(南西より)



下士官墓
(南西より)



下士官墓
(南より)



警視隊墓
(北西より)



軍夫の墓
(西より)

○顕彰のために整備された要素



背負の松
(南より)



石柱
(東より)

○活用のために整備された要素



看板1
(南より)



看板2
(東より)



駐車場
(南東より)

○その他の要素



拝屋
(南東より)

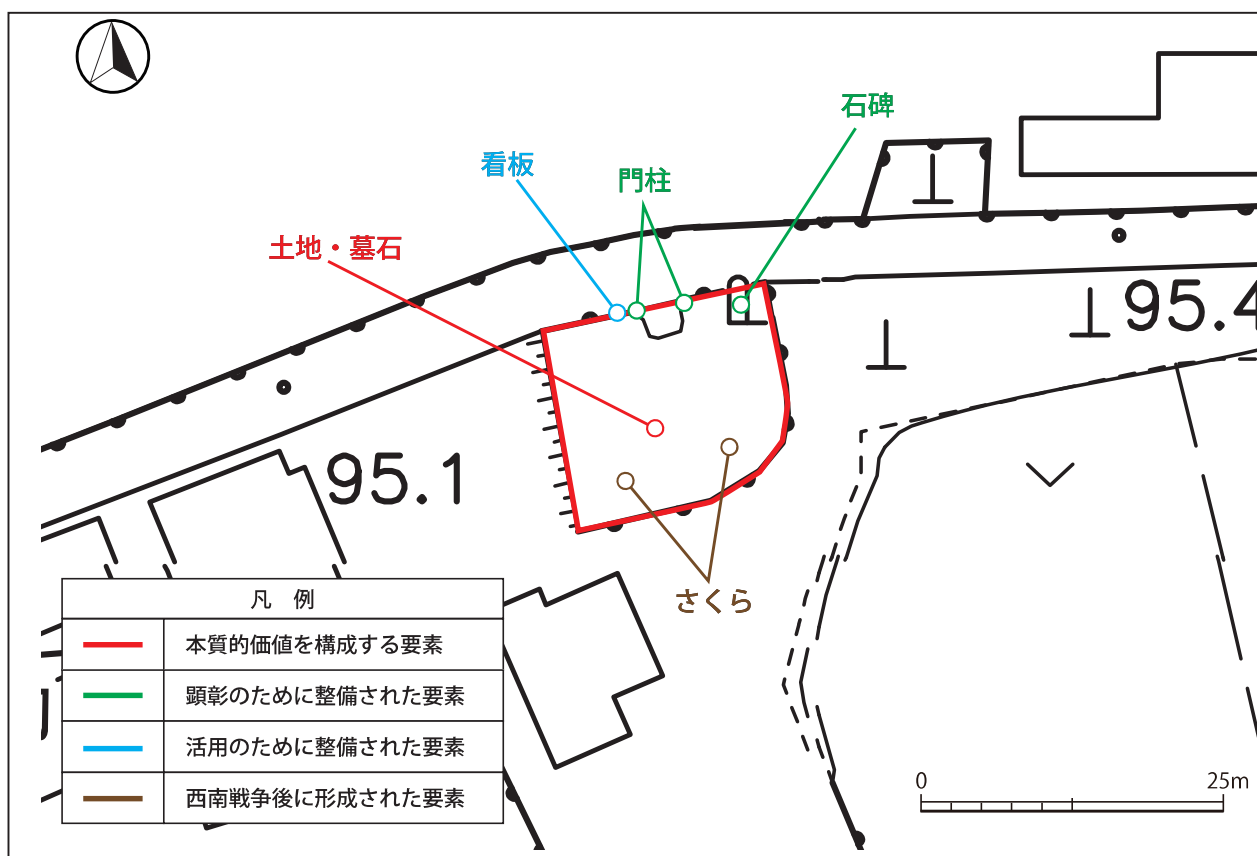


図 31 明徳官軍墓地の史跡の本質的価値と関わる要素

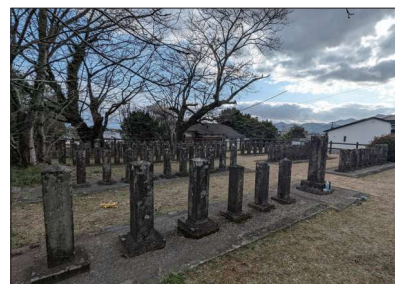
○本質的価値を構成する要素



土地（全景）
(北西より)



墓石
(北西より)



墓石
(北東より)

○顕彰のために整備された要素



門柱
(北東より)



石碑
(北東より)

○活用のために整備された要素



看板
(南より)

○西南戦争後に形成された要素



さくら
(北西より)

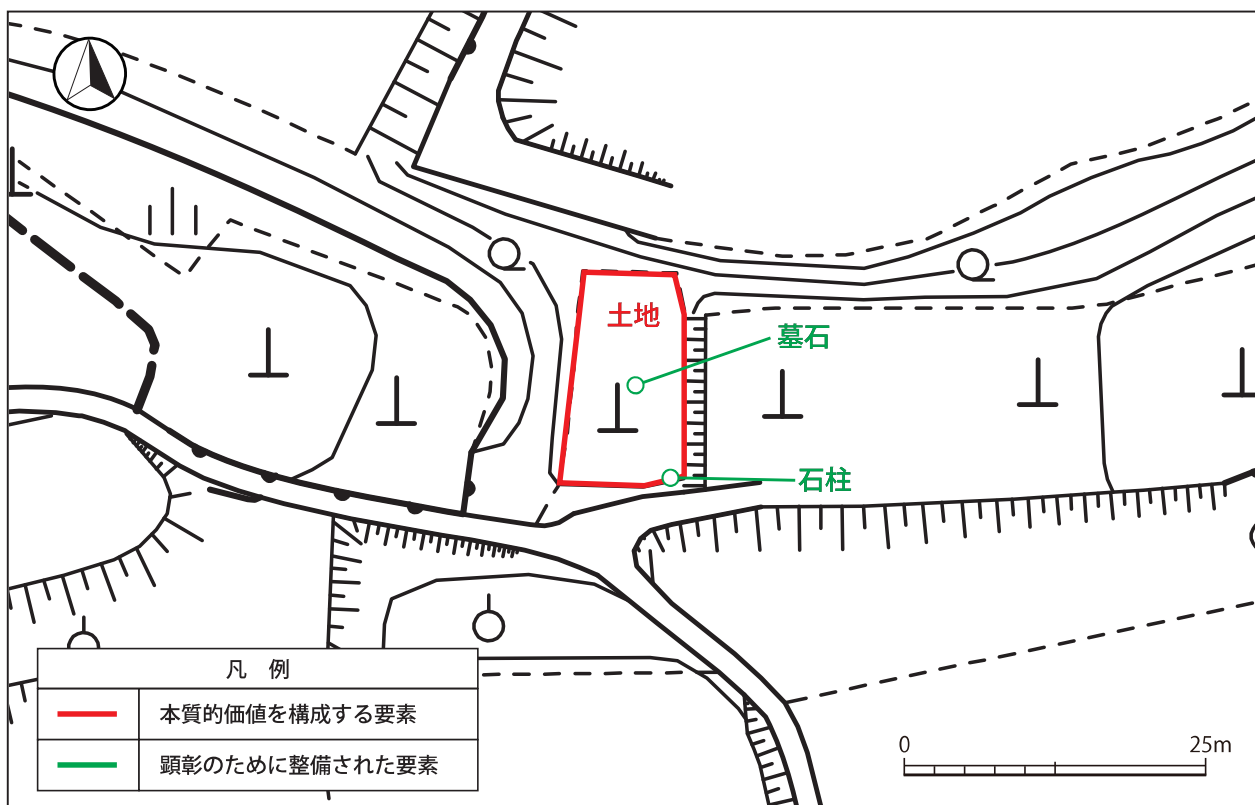
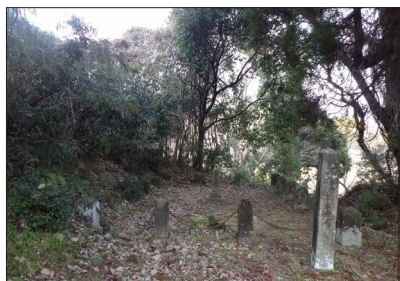


図 32 寄鶴官軍墓地の史跡の本質的価値と関わる要素

○本質的価値を構成する要素

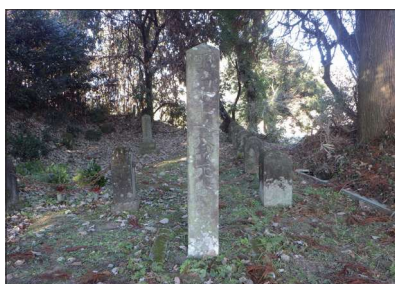


土地
(南より)

○顕彰のために整備された要素



墓石
(南より)



石柱
(南より)

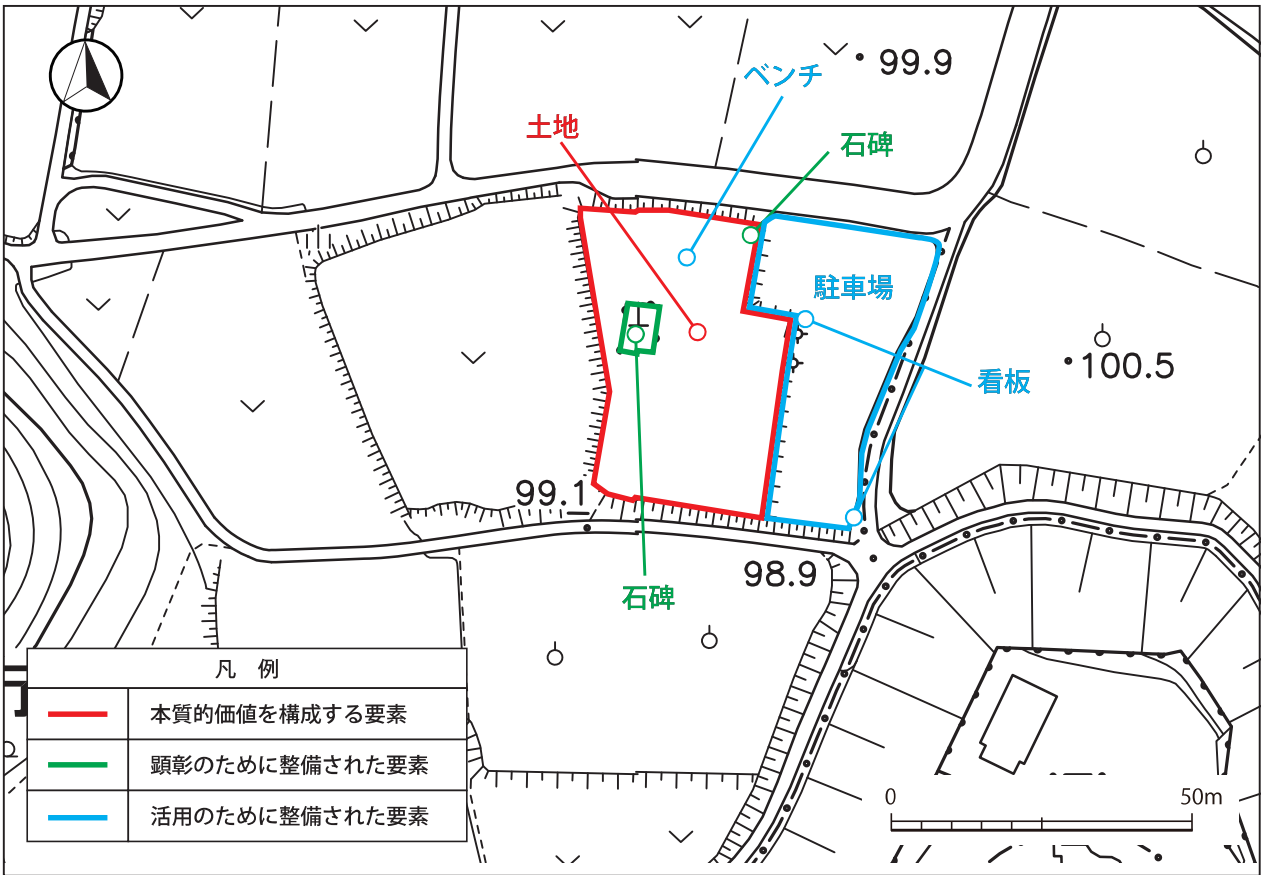


図 33 七本柿木台場薩軍墓地の史跡の本質的価値と関わる要素

○本質的価値を構成する要素



土地
(南東より)

○顕彰のために整備された要素



石碑 (左) と墓石 (右)
(東より)



石碑
(北東より)

○活用のために整備された要素



駐車場
(北東より)



看板
(東より)



ベンチ
(北東より)



ベンチ
(南より)

第5章 大綱と基本方針

第1節 大綱

西南戦争遺跡には2つの特徴がある。関連する遺跡・史跡が九州全域や熊本城周辺などの広範囲に所在しているという点と、地域住民や関係者などによる慰霊や顕彰が現在まで連綿と続いているという点である。この特徴は西南戦争遺跡の歴史的および学術的な意義を、空間と時間の両方からより身近に、より立体的に感じることができる可能性を示している。これらの特徴をもとに西南戦争遺跡の保存と活用を考えることが必要であり、そのためには地域住民や関係団体等の理解と継続的な調査研究が不可欠である。地域活性化や関係人口の増加、生涯学習、学校教育などの各分野に寄与し、広域的な視点で文化財を捉えて分かりやすく伝えていく必要がある。なお、その内容については、近代日本における最大で最後の国内の戦いであり、甚大な戦禍を生じたことを踏まえ、平和教育に資する点も重要である。

このことから、熊本市における西南戦争遺跡の保存活用の大綱を以下のように定める。

西南戦争遺跡が結ぶ地域の歴史 ～時空を超えて、平和の尊さを伝える遺跡群～

第2節 基本方針

前節の大綱と第4章で述べた史跡の本質的価値と構成要素の内容に基づき、玉東町が策定した保存活用計画との連携を踏まえて熊本市域に所在する西南戦争遺跡の基本方針を以下のように定める。

○保存管理の基本方針：本質的価値の保存

西南戦争遺跡の歴史的・学術的意義を有する遺構や地形などを保存し、周辺の景観を保全するよう努める。

さらに、現在国史跡に指定されている範囲以外でも調査を進め、西南戦争の歴史的・学術的価値を有する関連史跡・遺跡の追加指定等に取り組む。

○活用の基本方針：史跡の価値を伝えるための広域的な活用

西南戦争遺跡が有する空間的および時間的な広がり分かりやすく伝える。

特別史跡熊本城跡や市内外の他の関連文化財とも連携して各所に残る西南戦争の痕跡や顕彰の事例、調査の最新情報を歴史講座や企画展などの様々な機会を通して市民に還元し、観光や教育を含む幅広い分野で史跡を活用して地域の活性化や関係人口（図33参照）の増加に努める。

○整備の基本方針：史跡の保存・活用と広域史跡としての一体的な整備

西南戦争遺跡の本質的価値を確実に保存しながら、西南戦争とは何かを学ぶための整備を行う。

来訪者が見学する際の利便性や都市公園および市道としての役割などに配慮しつつ、段階的に整備を進めていく。また、史跡がまたがる玉東町と統一感のある整備を実施し、西南戦争遺跡の特徴である広域性を表現できるようにする。

○運営体制の基本方針：史跡の保存・活用のための運営体制の構築

熊本市域の西南戦争遺跡は都市公園・市道・河川を含み、関係部署も多岐にわたる。将来にわたって継続的に保存・活用をはかるために関係部署との連携を強化するとともに、地域住民や関係団体との協力体制の構築を進める。

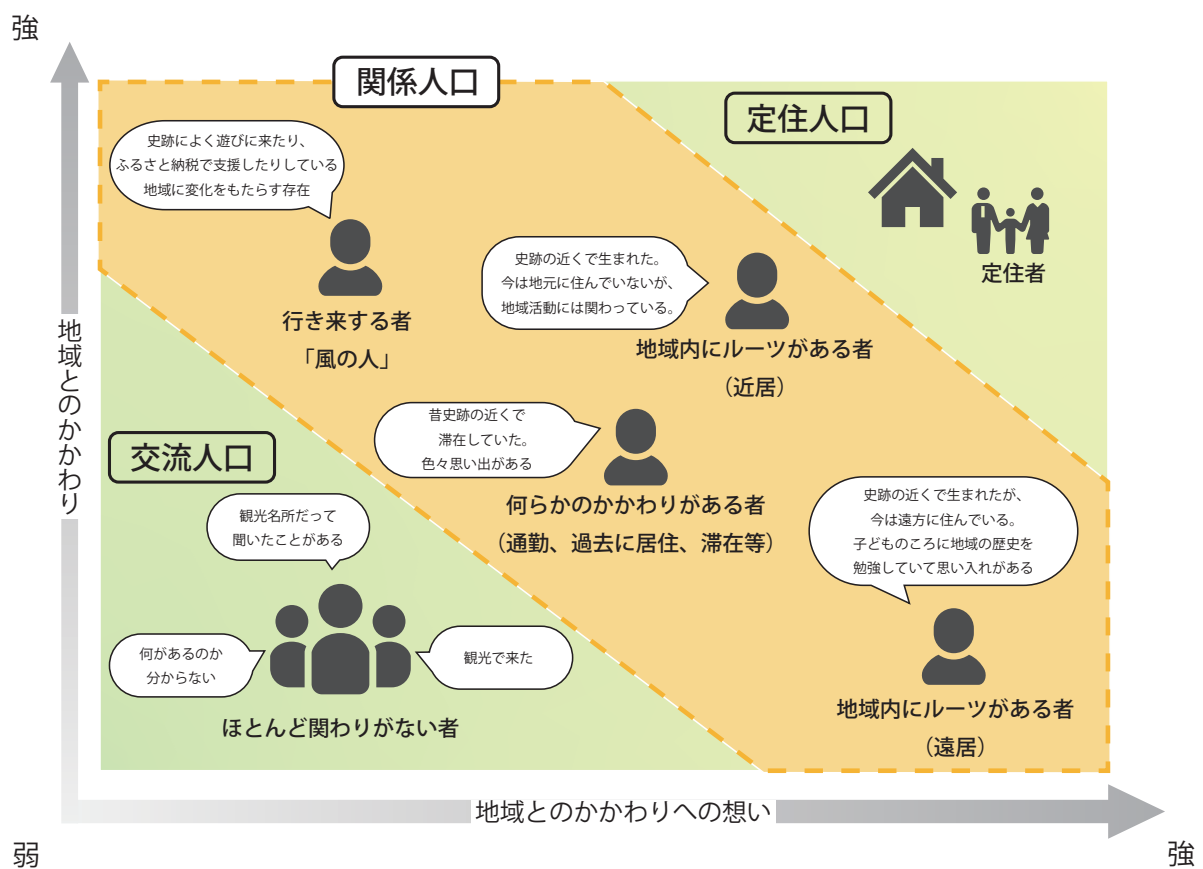


図 34 関係人口の概念図